

会 議 報 告

会議名	新宮市教育環境整備計画審議会（幼保一元化検討委員会）
日 時	平成19年2月4日 午後1時30分～午後4時45分
場 所	新宮市役所第2委員会室
出席者	委員9名出席（西委員、榎本委員欠席）、各私立保育園園長、楠本教育次長、和田福祉課長、清水総括指導主事、畑下指導主事、梶谷指導主事、平見、瀧本

概 要

1. 室みどり委員長挨拶
2. 前回会議の内容について
3. 室委員長講義「幼保の連携等について」
4. 継続審議について

（講義内容）

委員長

事務局からの依頼がありましたので、1時間ほど幼保の連携等について資料を使いながらお話しします。

国がもっていこうとしている幼保連携は、認定子ども園という形で出てきた。子供の発育は、図1の神経型、リンパ型、一般型、生殖型の4種類の発育曲線で表すことが出来る。幼児期は毎日脳づくりをしている状態。リンパ型は病気から身を守る機能の発達度で、免疫力があるうちはよいが、12歳頃までに急速に発達する。

一般型は筋肉です。幼児期は骨自体も大人の半分しか発達していない。生殖型は、必要になる時期にはほって置いても発達していく。10歳までで脳の配線が出来上がる。環境の中で新たな人間形成が出来る。3歳までに脳の発達は急に上がる。

この時期は、やってみせる、教えさせることが大切です。信頼性が3歳までに出来上がる。親が関わってくれない子は、発達が遅れる。赤ちゃんは抱いてあげること。4～5歳から9歳が次の脳づくり、10歳前後の情緒を創り上げる時期。

人を思いやること等を体験を通して身に付けていく。この時期は本を沢山読んであげてください。また、生意気になってくる時期でもあります。

図3の脳の仕組みを見ると、人の言っていることは、聴覚（耳）から入って、前頭葉の意図・創造・思考の機能が高められ記憶されます。大人でも老化しないためには、手を使い人と話すことが大切です。4～5歳から7歳までは何度も前頭葉を使って鍛錬する。

お母さんは、子どもの1日の出来事を何度も聞いてあげることが大切です。幼稚園の授業参観などで感じることは、先生方は話しすぎる場合が多い。もっと子どもの話を聴いてあげて欲しい。時間をかけてあげることが大事。お母さんは子どもに先に教えたがる。

子どもの言葉が少ないのは、周りが教えすぎるからです。子どもが紙を欲しいといえ、すぐに与えず、どんな大きさ、厚さはどれくらい、何色が欲しいなどを聴き、自分の前頭葉で考えさせてからあげると良い。

赤ちゃんは、皮膚感触だけが出来上がって生まれてきている。肌で感じるのです。小1の授業などでは姿勢が悪い子が多い。筋肉が育っていない、だからダルイ。45分間きちんと座って授業を受けられるように、小学校へ入学させる前に気をつけてあげてください。

雲梯は背筋を育てる。和歌山県の子どもは体力度が低い。体を使った遊びが大事。3歳頃は全てを知りたがる時期、好奇心に応じてあげてください。色々な体験をさせると、脳細胞のネットワークが広がる。マイナス感情も味あわせないと育たない。学校にカウンセラーを置いているが、多くの場合、心の悩みを話せず、親の関わりに子どもがつぶされる場合が多い。

幼保には母親教育も課せられる。マイナス面を乗り越える力を育てる。自発性が出てこない子は駄目です。人数の少ない学校では、子供同士の葛藤がない。自主性が出てこない。自主性が生まれてから、小学校へ手渡す。勤勉性 ⇨ 自己同一性（思春期）⇨ 青年期
子どもが手伝ってくれたときには、「ありがとう」と言ってあげてください。「いい子ね。何でも出来るいい子」という褒め方はだめです。

幼稚園、保育園は相互補完しあっていた。幼保小の連携が大切です。

(暫時休憩)

(協議内容)

事務局 先日の小中学校適正規模検討委員会において、緑丘中と城南中の2校を残し、小学校は緑丘中近くの用地を買収するか、千穂小を新設。蓬莱、王子を統合し王子小を改修するという案が強くなってきた。建設場所については、義務教育を中心に考えて調整させていただく。

A委員 前回、事務局から旧市民病院跡地、駅の東西市有地の3箇所が提案されたが、保育園を一緒に建てるには少し狭い。旧奈良交通跡地、若しくは丹鶴小裏の市民会館駐車場はどうでしょうか。

B委員 市民会館駐車場は土地が低く、地震の際の津波を考えるとどうでしょうか。

C委員 幼保一体施設に子育て支援センター機能を併せてもらえないのか。

D課長 子育て支援については、保健センターに機能を持たせた方が良いと考える。ただ、どれだけの希望があるのか判らない。一部、民間の保育園に一時預かりでお世話いただいている。

E委員 一時保育は、昨年が62日、今年は82日。新宮市は20%の利用で、多くは紀宝町だ。

D課長 国からの補助は700万円程しかなく、4人体制で出来ないか検討している。保育士だけでは対応できない、看護師が入ることもある。

E委員 幼稚園というステップを楽しみにしている子どもが多い。

事務局 前回、幼稚園・保育所の定数が固まったが、5歳児枠がかなり多くなっており、民間での早期5歳児受け入れを期待する。しかし、幼稚園の保育時間は2時までとなったが、4歳まで保育園に通園し、夕方まで預かってもらっていた園児が、5歳で幼稚園に入園した場合、2時で帰すわけには行かない。5歳児については、当面4時まで預かることに民間にも了解してもらいたい。

委員長 5歳児については2時まででなく、民間も4時まで認める。民間からもそう言ってあげてください。

事務局 幼稚園の保育料を3月から6300円に値上げしたいと考えているが、この金額は保育所の第4階層と似てくる。幼稚園での5歳児の延長保育は、それなりの保育料を頂く。預かり保育は幼稚園で5歳児のみ有料で行う。

委員長 三佐木地区は子どもも少なく、3年保育にした場合、バラバラになるので、学区を外し、三佐木地区からでも旧市内へ通園できるようにすればどうか。

事務局 確かに三佐木地区は子どもが少なく、前回、榎本委員が言われたように、効率は悪いが佐野保育所、三輪崎幼稚園の定数を抑え残す考えが示されたが、委員長が言われたことも検討したい。

E委員 公立保育所は、旧市民病院跡地が良い。支援センターは、公立保育所では難しいのではないかと。

委員長 本日、事務局から三佐木地区の児童数を示した資料を提出していただいておりますが、三佐木地区の園長さん方は出席いただいておりますので、次回審議したいと思います。

2月23日の小中学校適正規模検討委員会で、学校配置が固まるようですので、2月11日の幼保一元化検討委員会は25日に延期しますので、三佐木地区の園長さん方にもその旨お伝え下さい。

(16時45分 会議終了)